

九州工業大学基金のご報告

学長挨拶



本学では、100周年記念事業を継承する形で、学生の修学支援や課外活動支援、また留学生支援など、各種の支援事業に取り組むべく、平成28年11月から「九州工業大学基金」を立ち上げました。早速、皆様方からご支援をいただき、平成28年度は、半年程の間で6,113,390円（個人44人、法人11社）ものご浄財を賜りました。

皆様方からの温かいご支援に、あらためて心より厚く御礼申し上げます。

平成28年度は、下記のとおり、熊本地震に係る緊急支援奨学金や博士後期課程社会人支援、留学生奨学金、授業料支援、航空部への支援に活用いたしました。

平成29年度におきましては、「留学生後援会」の取り組みも、この基金に継承させていただき、引き続き、留学生が安心して本学で教育、研究に研鑽できよう支援を行ってまいります。

資源のない我が国にとって人材こそが宝です。この人材を育成するのが大学の使命です。昨今、国立大学を取り巻く環境は厳しく、国からの予算も削減されていますが、日々、経営努力を怠らず、今後も質の高い教育、卓越した研究活動に取り組んで参ります。

つきましては、世界で通用する高度技術者育成のために、各種の支援をはじめ、学生には、自ら学び自ら考える研鑽の機会を与えていきたいと、立ち上げました「九州工業大学基金」にご理解、ご賛同いただき、引き続きご支援のほど、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

国立大学法人 九州工業大学 学長

尾家祐二

平成28年度 収支状況

(円)

収 入		支 出	
過去の記念事業等より受入			
開学75周年記念事業会繰入	105,889,358	熊本地震に係る緊急支援奨学金	3,800,000
100周年運営費繰入	128,769,984	博士後期課程社会人支援	1,269,000
学内研究施設からの寄附受入	513,200	留学生奨学金	7,080,000
小 計	235,172,542	基金による授業料支援	267,900
九州工業大学基金 受入		航空部への支援	30,000
一般資金（使途限定含む）	4,116,390	事務運営（ホームページ、パンフレット等）	2,231,100
特定資金（修学支援事業）	1,997,000	事業計	14,678,000
寄附金額合計	6,113,390	次年度繰越	226,607,932
合 計	241,285,932	合 計	241,285,932

感謝のことば

■航空部

主将 工学部 機械知能工学科3年 山入端 大誠（ヤマニハ タイセイ）

航空部の活動はフライトだけでなく、学生が主体となってグライダーや装備品の整備を行っています。その活動の中で、多くの工具を利用していますが、それらの工具は、先輩方から代々大切に受け継ぎ使用しています。

大事に取り扱っていますが、老朽化が進み、新品を購入するにも、部費は限られています。

今回頂いた援助金のおかげで、工具を刷新し、グライダーの飛行に必要な装備品も新たに購入することができ、我々の活動がより安全に、楽しく、有意義に行えるようになりました。

ご寄附いただきました方には、部員一同、心より感謝申し上げます。



■留学生支援

大学院情報工学府 博士後期課程 情報工学専攻2年 WARAPON CHINSATIT (ワラポン チンサティ)

九州工業大学基金奨学金へ感謝の意思を伝えることができ、光栄と思っています。
日本で勉強する機会を持つことは、私の人生で最高の機会です。私は日本の技術と文化、そして働く姿勢を学ぶために留学しました。私は母国であるタイで働いていた頃、日本の正確な技術や時間を守る習慣などに興味を持っていました。日本は技術力において世界のリーダーであり、独自の伝統文化を持っています。私は日本の文化を学ぶことによって母国の技術力を高め、母国を発展させたいです。

しかし、この国に住むことはお金がなければ簡単ではありません。私は九州工業大学基金奨学金を取得することにより、経済的な負担が減り、将来についての不安を和らげることができました。さらに、自分の研究に全面的に専念することができました。私にチャンスを与えてくださったことに心から大変感謝しています。

最後に、私はこの奨学金は次世代の学生にチャンスを与え続けることを願っています。どうもありがとうございました。



■博士後期課程社会人支援

大学院工学府博士後期課程 工学専攻 電気電子工学領域2年 芝田 拓樹 (シバタ ヒロキ) 勤務先:三菱電機株式会社 系統変電システム製作所

平成28年4月に社会人特別選抜で工学府博士後期課程に入学した際、社会人学生奨学事業に採択させていただき、深く御礼申し上げます。

私は九州工業大学を博士前期課程で修了した後、大学時代の研究分野に近い製品の技術開発職に就き、大学の研究ではあまり意識することのない実規模の製品の製造現場を見ながら、技術やコストに関する考え方を学んできました。その中で、大学時代に学んでいた物理現象の解明や機器の診断技術等が、製品の技術開発力の向上に繋がるのではないかと考えるようになりました。技術開発職でありながら私の周りに博士号を取得している人はおらず、そういった意味でも新しい道を切り開けると考えました。

その考えを職場の上司に相談したところ、社会人学生としての博士号取得を承して頂きました。研究室は私が博士前期課程を修了した大塚先生の下しか考えておりませんでした。大塚先生も快く受け入れて下さり感謝しております。入学後は会社生活との両立に苦戦し、なかなか思うような研究成果が出ておりませんが、非常に密度の濃い有意義な時間を過ごすことができます。今後も博士号取得に向けより一層精進し、修了した際には習得した知識や技術で、自身の職務のみならず社会全体に貢献する所存です。

私は勤務地が関西であり、通学等の経済的負担が決して軽くないことから、本奨学事業による支援に大変感謝しております。ご支援をいただいております九州工業大学OBの方々を始め多くの方々へ、この場をお借りしまして心より深く感謝申し上げます。



ご寄附をいただいた皆様 《芳名録》 (平成28年11月～平成29年8月末)

ここに、ご寄附いただいた皆様のご芳名を掲載させていただき、心より感謝の意を表します。
(氏名のご公表を希望されない方は、匿名にて表示しております。)

個人の方

赤星 保浩様	工藤 智規様	田中 誠次様	増田 博文様
アブドゥハン 恭子様	栗山 次郎様	田淵 信太郎様	松田 昭信様
飯田 法幸様	桑原 伸夫様	鶴田 隆治様	松永 守央様
池野 耕三様	後藤 厚様	徳田 克也様	宮崎 達三郎様
伊勢田 壽満子様	後藤 英文様	徳丸 雅夫様	宮ノ前 進様
磯 泰行様	坂本 寛様	富田 侑嗣様	宮原 安徳様
市来 知幸様	迫田 哲彌様	中山 貴明様	宮松 ひろみ様
井手 利廣様	佐藤 真一郎様	鳴重 泰様	村田 光司様
伊藤 敏子様	残華 仁志様	西尾 一政様	森崎 文信様
今林 頼信様	清水 民雄様	西村 准一郎様	盛中 悦子様
尾家 祐二様	瀬川 赳夫様	延山 英沢様	山田 宏様
尾川 博昭様	瀬戸 哲様	濱邊 正照様	山出 崇様
加治 淳一様	添田 善一様	林田 晋一郎様	用正 拓人様
川口 尚人様	園田 増雄様	早瀬 修二様	吉田 秀保様
菊池 孝明様	高瀬 哲郎様	平井 隆二様	吉田 眞言様
北村 和雄様	竹中 義晴様	星野 勤様	匿名の方 42名様

寄附者の方からのメッセージ

赤星 保浩様

2018年度から再び18歳人口が減り続け、私立大学だけでなく国立大学もかなりの影響を受けるものと予想される。九州工業大学が100年後、200年後も存続し続けることができる大学であって欲しいです。

迫田 哲彌様

日本を担い、世界で活躍する人材をたくさん輩出することを今後も期待しています。

徳丸 雅夫様

弓道部への支援を希望致します。

松田 昭信様

尾家学長様には在学時より大変お世話になりましたので、少しばかりのお礼として寄付させていただきます。

企業の方

九州三菱自動車販売株式会社 様	神鋼リードミック株式会社 様	株式会社 フジキン 様	溝江建設株式会社 様
有限会社 小林クレーン興業 様	日本鋳鍛鋼株式会社 様	富士電機株式会社 様	匿名の企業 3社様
三建産業株式会社 様	株式会社タカギ 様	三島光産株式会社 様	(掲載は五十音順)